

学校便り 4月号

令和 7 年4月8日発行
和歌山市立岡崎小学校

学 校 長

令和7年度も、どうぞよろしくお願いいたします

校庭にチューリップやパンジーが色とりどりに咲き、子どもたちが学校に来るのを、今か今かと待ちかねているようでした。



令和7年度が始まりました。お子様のご進級おめでとうございます。子どもたちは新しい学年・学級での学習や生活に、大きな希望といくらかの不安を抱いて、始業式を迎えたことでしょう。私たち教職員は、そのような子どもたちの思いを受け止め、子どもたちに寄り添いながら、教育活動を進めていきたいと思います。また、4月の人事異動で11人の新しい教職員がこの岡崎小学校に仲間入りしました。新しい教職員と協力し、力を尽くしてまいります。

さて、4月9日には、新入生102人を迎え、令和 7 年度は、607人でスタートします。本日は、始業式でした。子どもたちには「スイミー」の話をしました。「スイミー」は、オランダ出身のアメリカの絵本作家のレオ＝レオニの作品です。国語の教科書にも載っている作品ですので、保護者の皆様にも馴染みがあるのではないのでしょうか。

あらすじ

スイミーは小さな魚。仲間みんな赤い魚だったが、スイミーは真っ黒な小魚だった。ある時、マグロに仲間を食われて、一人ぼっちになった。一人ぼっちになったスイミーは海をさまようが、新しい小さな赤い魚たちに出会う。その赤い魚たちは、マグロを怖がって岩場から出てこない。スイミーはマグロを追い払うために何かできないかと考えた。そして、赤い魚たちに、みんなで協力し大きな魚になることを提案した。みんなで隊列を組み、協力し、スイミーが目になった。そして、赤い大きな魚になり、マグロを追い払った。

このお話には、学ぶべき点が多くあります。始業式には主に次の2点について話しました。「①友達と協力する大切さ」「②知恵を出し合い困難を克服しようとする心」真剣に話を聞く子どもたちの目に、新年度への意気込みが感じられました。新学年を頑張りたいという子どもたちの気持ちを、3 学期まで持続させることが出来るよう、教職員一丸となり頑張りたいと思います。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。